

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 22年 3月 21日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4677100168号
法人名	有限会社 健やかクラブ
事業所名	グループホーム 元気
所在地	鹿児島県鹿屋市串良町細山田5340-2 (電話)0994-31-0161
自己評価作成日	平成22年3月21日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kagoshima-kaigonet.com">http://www.kagoshima-kaigonet.com</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成22年4月6日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

園芸療法を中心に広い敷地を利用して家庭菜園を作り、日々の料理に利用したり、花を作ったり(播種から育苗等)利用者と一緒に草取り、収穫を行っている。家庭的な雰囲気の中で、元気の名のとおりスタッフ、利用者様が朗らかに協同している。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「心こそ大切なれ」の理念に沿って命そのものを大切に、ホームの生活が利用者の満足に結び付くよう心のこもった介護を実践している。また、運営者、管理者、職員の信頼関係が構築されており、常に職員の意見を求め、出された意見、提案などが運営に反映され、質の高いサービスの提供ができていくグループホームである。

ホームの方針により排せつの自立を支援しており、24時間個々の排せつ時間をこまめに記録して排せつパターンを把握しトイレ誘導を促している。夜間も夜勤帯の職員はトイレ誘導を行い、おむつの使用はしていない。入居時の状況に比べ排せつの自立支援や寄り添うケア、心のこもったケアが利用者の身体機能の向上につながっているケースもある。介護計画も毎月モニタリングで気付きを検討し常に現状に即したプランの見直しをしている。また、各居室に介護計画を置いて本人、家族、職員がいつでも見れるようにケアの振り返りができるように工夫している。

運営推進会議も地域の方や全家族に参加してもらえるように積極的に呼びかけをし、幅広い参加者のもと災害対策や認知症の勉強会などホームの運営と地域貢献に活かしている。自然環境も良く、広い敷地には畑が作られ、芝生の庭は外気浴にも最適である。開放感のある田舎の大家族の「家」である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>毎朝の申し送りミーティングのときに職員で唱和して業務に従事している</p>	<p>地域密着型サービスとしてホームと地域の関係性を重視した理念を作り上げ、毎朝申し送り時に唱和し、理念を確認して業務にあたっている。</p>	
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>ホームでの催し物がある時は招待状を配り参加を呼びかけている。町内会の夏祭りは招待を受けて参加している</p>	<p>地域行事（夏祭り、秋祭り、老人会のソーメン流しなど）への招待を受けたり、老人会からタオルの寄付をもらうなど、町内会への加入はしていないが、地域の一員として受け入れられており日常的に交流がある。また、ホームの催し物に声かけや手紙で地域の方を招待している。</p>	
3		<p>事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている</p>	<p>近隣住民の方がいつでも立ち寄れるように普段から声掛けを実践している</p>	/	/
4	3	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月1回の運営推進会議を定期的実施し、サービスの状況報告し、そこでの意見などを参考にしてサービス向上に活かしている</p>	<p>公民館長、消防分団長、老人会、利用者、家族（交代で参加）、地域住民などの幅広い参加を得て、災害対策についての話し合いや認知症についての勉強会などホームの運営と地域貢献に活かされた取り組みを行っている。</p>	

鹿児島県 グループホーム元気

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>施設長、管理者が市の行政に向いたり、電話などで情報交換や実情、サービスの取り組みを伝えながら向上に努めている</p>	<p>介護サービスについての相談や助言をもらうなど機会を捉えては連携に努めている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>徘徊者が園外に出てもすぐ対応できるようドアにチャイムをつけたり、身体拘束しないようスタッフの動線範囲内にいてもらうようにしている</p>	<p>高齢者の権利擁護や身体拘束に関する勉強会に参加し、ホーム内で復命研修を行って職員の共有認識を図っている。事業所としても身体拘束廃止委員会を設けており、家族にも方針を説明している。鍵をかけないケアの実践にも取り組んでおり、玄関や出入口は施錠していない。職員の見守りにより利用者は安全で自由な暮らしを送っている。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>市町村単位の学習会にはスタッフ交替で参加し、職員会等で研修報告していただいている</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>市町村単位の学習会にはスタッフ交替で参加し、職員会等で研修報告していただいている</p>		

鹿児島県 グループホーム元気

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>文書にてホームの運営理念、方針を丁寧に説明している。解約時は各関係機関と連携して、家族の方が安心できるようサポートしている</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情窓口相談を設置し、いつでも対応できる体制を取っている</p>	<p>家族から気軽に意見、要望がもらえるように、日頃よりヒヤリハットや身体状況の報告をまめに行い、話の流れで家族からも意見など聞いている。利用者へはこちらからの問いかけや投げかけで意見を引き出すように努めている。出された意見、要望については職員全員で話し合い反映させている。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>申し送り帳を利用したり、月1回の職員会議の中で、意見など聞いたりして運営に反映している</p>	<p>日々の申し送りや毎月の職員会議、ケース検討会などでさまざまな提案や意見を聞くようにしている。また、サービスの質の向上に向けての職員増員や入居について職員の意見を聞いてから受け入れるなど、運営に関して職員の意見が反映されている。</p>	
12		<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員の意見を多く取り入れて働きやすい環境を作っている</p>		

鹿児島県 グループホーム元気

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修に参加させたり、ホーム内でも職員会の中で勉強したり、研鑽している。又、個々の相談にも随時応じ向上につなげている</p>		
14		<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>GH連絡協議会主催の勉強会で相互間に意見交換したりして、サービスの向上に努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>初期の面接時、優しい言葉遣いと態度で接し、不安感を与えないようにしている。できる限り本人の要望を受け入れられるようにしている</p>		
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族の方に安心していただくようにわかりやすく説明し、優しい言葉遣いと態度で接し、家族の要望を受け入れるように努めている</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人と家族の情報を収集し必要に応じて、他の関係機関と連携を図ってサービス利用に努めている</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人の意思を尊重し、強制するのではなくコミュニケーションに心がけ、趣味、レクリエーション、調理の下ごしらえ、行事など共に協力し助け合うことに努めている</p>		

鹿児島県 グループホーム元気

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>通院や外出、又、お盆、正月の一時帰宅や外泊を負担のない限り、協力いただいている。そして年中の行事参加やホーム便り、面会、電話などでお知らせしている</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>いつでも外出、外泊が自由にできるように又、いつでも面会に来ていただくように開放している</p>	<p>行きつけの美容室の送迎や墓参りなど、なじみの場との関係継続の支援を行っている。また、ときには友人の訪問があるなど、これまでの関係が途切れないように支援している。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>一緒に台所作業をしたり、洗濯物を干したり、畳んだり、レクリエーションへの参加をしていただいている。歩行可能な方は下膳していただいている</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用 契約 が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約が終了しても家族の方へ電話したり、現在の状況を聞いたりして、関係を維持している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>家族から得た情報や日頃のコミュニケーションの中で、希望することを聞いたり、勧めたりしている。(買い物、食べたいもの、したいことなど)</p>	<p>基本情報や日々の関わりの中で声かけを行い、表情や言動から把握するように努めている。失語症で意思疎通が困難な利用者に根気強く関わることで発語や言動で意思を伝えることができるようになった。</p>	
24		<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>基本情報を基にして、今までの生活歴を重視し、ケアカンファレンスを開催して、サービス利用の経過に努めている</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>毎日の介護記録や申し送り帳に記入している。職員会議や毎日の申し送り、緊急のミーティングを実施している</p>		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>アセスメントに基づいて具体的なケアプランを作成している</p>	<p>各居室にケアプランを置いており、本人、家族、職員がいつでも目を通し内容を確認している。また、毎月、モニタリングで利用者の気付きを検討し、現状に即した介護計画の見直しを行っている。</p>	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個々の介護記録を毎日記入し、申し送り帳を利用してスタッフ全員が情報を共有できるようにしている</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人家族の要望を受け入れ、GHの特性を活かして一人一人が自然な形で、持っている力を発揮して暮らしていけるよう支援している</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>家族の紹介などで舞踏や楽器演奏に来ていただいたり、ボランティアで話し相手に来ていただいている</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>24時間の医療連携を確保し週1回の訪問看護、月1回のDr往診で適切な医療受診を支援している</p>	<p>協力医療機関の居宅療養管理指導のもとで健康状態を毎日記入し、利用者の健康管理を行っている。家族が受診に付きそう場合は介護記録のコピーを渡し、かかりつけ医からの情報を聞いている。また、必要に応じて職員が同行する場合もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>毎日のバイタルチェックや介護記録を元に、異常があればその都度、訪問看護と連絡を取り、Dr又は看護婦の指示を仰ぐ。必要があれば往診や受診をする</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>提携医療機関を確保しMSWと連絡を図ったり、その状況を聞いたりしておこなっている</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>提携医療機関のDr、家族などと普段から話し合い全員で方針を共有している</p>	<p>重度化に向けた対応指針を作成し、説明をして家族から同意書をもらっている。職員も方針を共有しており、協力医療機関、契約の訪問看護ステーションなどの協力体制でチームとして支援出来るように取り組んでいる。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防署の協力を得てホームで研修したり、外部研修に参加して初期対応の訓練を実施している</p>		

鹿児島県 グループホーム元気

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>緊急時対応策マニュアルを作成して、周知徹底している。消防、地域消防団長にも協力していただき、消火、避難訓練を実施している</p>	<p>夜間想定で年2回消防署の指導のもと、地域の方も参加して避難訓練を行っている。また、運営推進会議で地域の消防分団長を交え緊急時の通報についての話し合いを行うなど協力体制を築いている。非常用の備品、備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	四六時中他人と接するのが苦手な人、口下手な人など無理強いはせず、居室で過ごしていただいたり、時々スタッフが声掛けする	個々の誇りやプライバシーを損ねない声かけや接し方に努めている。プライバシーに関する研修で職員の意識付けを行っている。また、本人の意思を引き出すような声かけで自己決定を促すように配慮している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一つ一つの出来事に声掛けして、出来たことは褒めてあげたり、好みのおかずや食べたいものの希望を取ったり、行きたい所など聞いて支援している		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自由に散歩、外出、フロアでのくつろぎ等、様々なスタイルが保たてるよう一人一人のペースを大切に支援している		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	自分の意思表示が明確に出来る人には、衣類を購入の際は自分で選んで決めていただいている		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様に何を食べたいのか声掛けし、好みに応じて食事を作ったり、準備のできる人は手伝っていただいたり、片づけをしていただいている	個々の力を活かしながら下ごしらえ、片づけ、茶碗拭き、台拭きなどできることを職員とともにいき、庭の菜園での収穫を楽しんだり、天気の良い日は弁当持参で外での食事を楽しんでいる。また、ホテルでの食事会や車イス対応の店であれば外食（ラーメン、和食など）にも積極的に出かけており、気分を変えて食事を楽しんでいる。	

鹿児島県 グループホーム元気

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養計算により目標量を確保できるよう献立内容に努め、水分摂取時はその都度記録し、必要に応じて補給していただく</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>起床時のうがい、毎食前のお茶でのうがい、食後は歯磨きうがい、夕食後は義歯洗浄剤を用いて消毒している</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>一人一人の排泄時間を記録し時間を見計らって声掛けをしてトイレ対応に努めている</p>	<p>個々の排せつチェック表に排せつ時間をこまめに記録して職員は排せつパターンの把握に努めている。ホームは基本的におむつ使用はせず、トイレ誘導により対応している。夜間帯も夜勤の職員はトイレ誘導をして可能な限り排せつの自立に向けた支援を行っている。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>水分補給や植物繊維食品を食事に取り入れたり、適度な運動を行ったり、処方された下剤など用いて排便コントロールに努めている</p>		

鹿児島県 グループホーム元気

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	一日がかりで一人一人のタイミングを見て声掛けし、希望の時間にゆっくりと楽しみながら、入浴の支援をしている	週3回程度を目安にして個々の希望や体調に合わせた支援を行っている。また、夏場は毎日シャワー浴を行い清潔保持に努めている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その日その日の生活状況、生活習慣を把握し、和室や居室のベッドでゆっくりしていただいたり、不眠で眠剤の必要の方は用いて安眠していただいている		
47		服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の薬情報をファイルして1回分ずつ薬局にて分包して頂き、服薬確認、症状の変化確認に努めている		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	朝の掃除時、歩行可能な方には、自分の居室は掃除をして頂いている。花壇の手入れや草取りなども自らしたりしている		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日はドライブに誘ったり、女性入居者様にはスーパーマーケットに同行していただいて、日用品、食料品の買い物に付き添っていただいている	天気のいい日は毎日でも散歩に出かけたり、ドライブや買い物などできるだけ戸外へ出かけられるように支援している。外食やお弁当を持って戸外に出かけるなど積極的に外出している。職員体制に余裕を持たせており、個別の外出支援も可能な限り行い、水族館見学の希望や個々の散歩などにも対応している。	

鹿児島県 グループホーム元気

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>殆んどの方がお金を所持していない。必要に応じて使うときはホームで立て替えて使えるように支援している</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>個々に応じて自由に電話できる体制を取っている。ダイヤルしてあげてから、渡すなどしている。又、スタッフが協力して年賀状や暑中見舞いなど家族に出せるように努めている</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>四季の移り変わりには、貼り絵、雛飾り、こいのぼりなど揚げたり、又、メニューなどにも取り入れる。季節が変わることを視覚、味覚で感じていただいている</p>	<p>リビングには畳の部屋もあり、テラスに自由に出ることができるので開放感がある。素足で木の感触を感じてもらえるように杉の床材を使用している。全体的にバリアフリーにしてあり、トイレ、洗面所など車イス対応である。座り心地のいいソファが置かれ、居心地良く過ごせるように工夫している。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>個室であり、ホール内にソファを設置し、又、畳の間も設けてあり入居者様同士、自由に過ごせられるようにしてある</p>		

鹿児島県 グループホーム元気

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者一人一人、使い慣れた生活用品が持ち込まれている	居室の床は木のあたたかさがあり、家族の写真、テーブル、椅子、タンス、化粧品、趣味の本などなじみのものや好みのものが持ち込まれて居心地良く過ごせるように工夫されている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	車椅子でも利用できるようにスペースを広くしている。又、歩行の不安定な方もホール内手すりを設置して、自立した生活が送れるよう工夫している		



アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1	ほぼ全ての利用者の
		2	利用者の2/3くらいの
		3	利用者の1/3くらいの
		4	ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1	毎日ある
		2	数日に1回程度ある
		3	たまにある
		4	ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36,37)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	1	ほぼ全ての家族と
		2	家族の2/3くらいと
		3	家族の1/3くらいと
		4	ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1	ほぼ毎日のように
		2	数日に1回程度ある
		3	たまに
		4	ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1	大いに増えている
		2	少しずつ増えている
		3	あまり増えていない
		4	全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1	ほぼ全ての職員が
		2	職員の2/3くらいが
		3	職員の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1	ほぼ全ての家族等が
		2	家族等の2/3くらいが
		3	家族等の1/3くらいが
		4	ほとんどいない